

2024年3月12日

各位

三井住友信託銀行株式会社

MCi Carbon Pty Ltdへの出資について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、CO₂固定化技術を基にカーボンネガティブコンクリート(※1)等の材料となる炭酸塩等を製造する技術を開発・提供するMCi Carbon Pty Ltd(本社:豪州キャンベラ、CEO & Co-Founder:Marcus Dawe、以下「MCi」)に、インパクトエクイティ投資として出資しましたのでお知らせします。

MCiは、製鉄工程で生じる副産物(スラグ)・自然界に存在する鉱石、その他カルシウムやマグネシウムを含むさまざまな物質にCO₂を反応・固定化させ、炭酸カルシウム・炭酸マグネシウム等の炭酸塩を製造する技術を有しております。

当該技術は半永久的にCO₂を固定化しつつ、かつ、カーボンネガティブを実現するコンクリート材料等に使用可能な炭酸塩の製造に使用されることから、Hard to abate セクター (※2)と呼ばれるCO₂排出削減が困難な鉄鋼・セメント業界等のCO₂の回収・固定化を実現しつつ、同時に経済性の確保も期待される、脱炭素分野のソリューションとして期待されております。

MCiは、CO₂の固定化と有効利用による脱炭素への貢献を目指し2012年に設立され、2016年からは実証研究用のパイロットプラントを設立し研究開発を進めておりましたが、足許は、将来の商業生産を見据えた量産化プラントの建設を開始しており、今回の増資による資金は、当該量産化プラントの建設資金として活用されます。

当社は、2022年4月から、社会課題解決に向けた挑戦や取り組みを資金面からサポートすることを目的として、インパクトエクイティ投資を実施しています。MCiへの出資を通じて、世界各地におけるHard to abate セクターおよびMCiの技術を用いて生産される炭酸塩を使用しカーボンネガティブを目指すさまざまな業界の脱炭素化を支援していきます。

(※1)カーボンネガティブコンクリート

CO₂排出量よりもCO₂吸収・固定化量が多い状態のことをカーボンネガティブと言います。カーボンネガティブコンクリートは、CO₂を固定した炭酸カルシウムをコンクリート製造時に混ぜ合わせることで、CO₂の実質排出量マイナスを実現したコンクリートを言います。

(※2)Hard to abate セクター

実装可能な脱炭素技術が確立されていない、または、クリーンエネルギーへの転換のハードルが高いことから、CO₂排出削減困難な業界を指し、代表的な業界としては鉄鋼・セメント・化学業界と言われています。

以上